

令和4年度
地球温暖化対策実行計画の進捗状況について

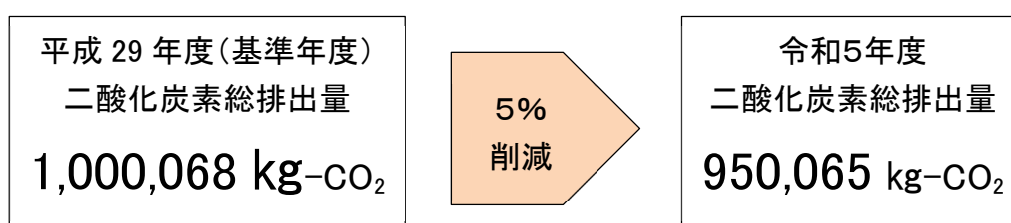
令和5年6月
日向東臼杵広域連合

平成 31 年3月に策定した日向東臼杵広域連合地球温暖化対策実行計画について、令和4年度における進捗状況を次のとおり取りまとめました。

○二酸化炭素の削減目標と排出状況

1. 削減目標

広域連合は、令和元年度から令和5年度までの5年間で、全ての事務及び事業により排出される温室効果ガスのうち、二酸化炭素総排出量について、基準年度(平成 29 年度)から5%の削減を目標としています。



2. 排出状況(基準年度との比較)

排出要因	単位	平成29年度(基準年度)		令和4年度		増減量 (B) - (A)	基準年度 比増減率 (%)
		使用量	排出量(kg-CO ₂) (A)	使用量	排出量(kg-CO ₂) (B)		
電気	kWh	1,850,040	810,317	2,024,693	880,741	70,424	8.7%
ガソリン	L	596	1,383	643	1,492	109	7.9%
灯油	L	60,689	151,116	78,000	194,220	43,104	28.5%
軽油	L	532	1,373	558	1,440	67	4.9%
A重油	L	13,069	35,417	12,000	32,520	△2,897	△8.2%
LPガス	m ³	154	462	110.1	330	△132	△28.6%
計			1,000,068		1,110,743	110,675	11.1%

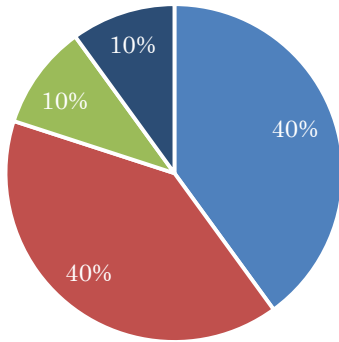
令和4年度の二酸化炭素総排出量は、基準年度の平成 29 年度に比べて 11.1%増加しています。増加した要因としては、日向地区斎場東郷霊苑での火葬件数が平成 29 年度に比べ 204 件増加し、火葬に伴う電気、灯油の使用量が増加したこと、清掃センターごみ焼却量が平成 29 年度に比べ 672 トン増加し、焼却に伴う電気、軽油の使用量が増加したことが挙げられます。

○職員の日常業務における取組状況

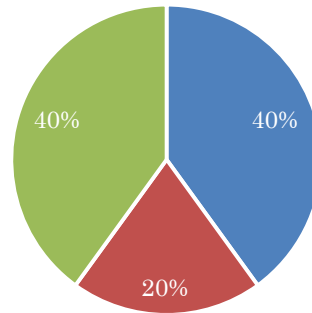
広域連合では、目標の達成に向けて、職員一人ひとりが、日常業務における省エネルギーや環境に配慮した行動を実践しています。「二酸化炭素排出量削減のための取組チェックシート」を活用して、令和4年度の取組状況を点検し、次のとおり取りまとめました。

□十分できた □おおむねできた □一部できた □あまりできなかった □ほとんどできなかった □できなかった □該当しない

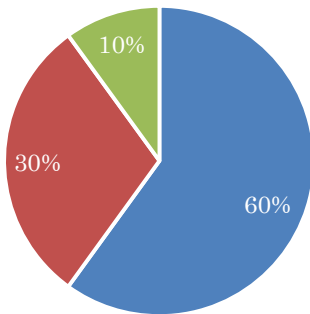
クールビズ、ウォームビズを実践する



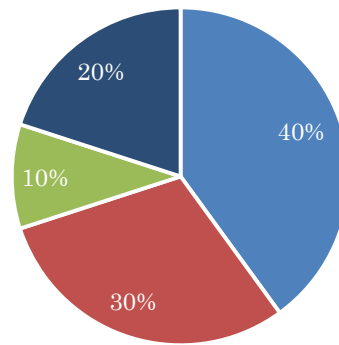
施設の閉館前や職員の退庁前など、いつもより15分早く空調設備の稼働を止める



部屋を短時間しか使用しない場合は、空調設備の使用を控え、消し忘れに注意する

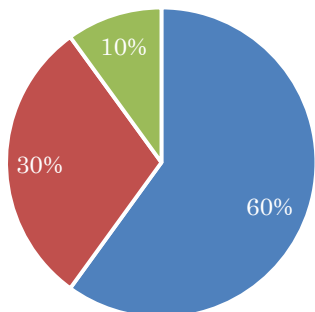


定期的に空調設備の清掃・点検をする

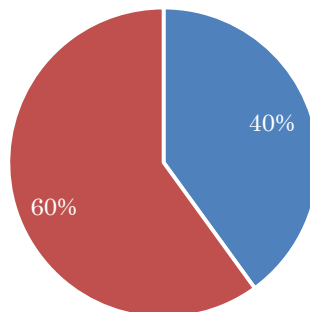


□十分できた
 □おおむねできた
 □一部できた
 □あまりできなかった
 □ほとんどできなかった
 □できなかった
 □該当しない

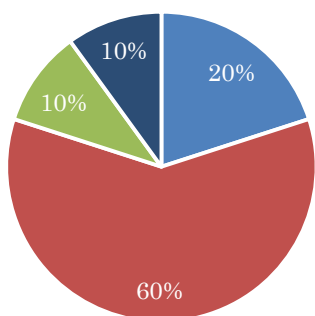
ブラインドやカーテンを使い、太陽の熱を賢く利用し、空調設備に頼りすぎない



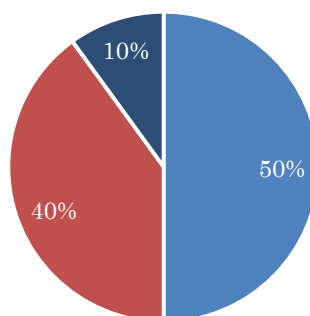
不在時や不要時に照明をこまめに消灯し、昼休み等は、必要な照明のみ点灯とする



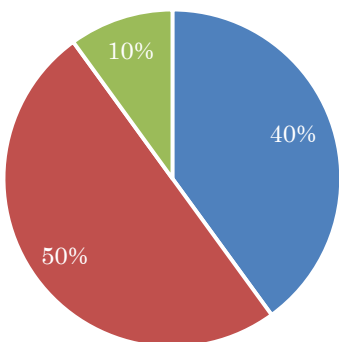
できるだけ窓際の照明の利用を控えて、自然の光を積極的に利用する



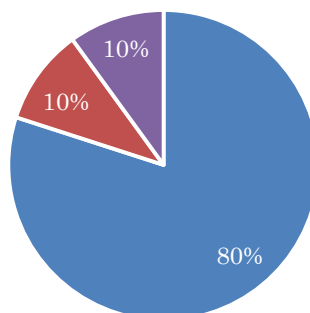
計画的に業務を遂行し、時間外勤務を短縮する



給湯時間を短縮する

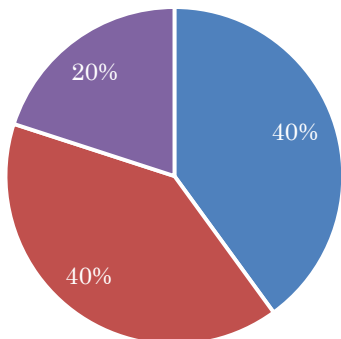


退庁時には、ポットや食器乾燥機の電源を切る

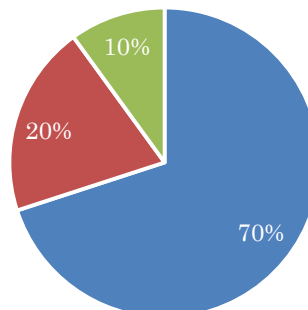


□十分できた
 □おおむねできた
 □一部できた
 □あまりできなかった
 □ほとんどできなかった
 □できなかった
 □該当しない

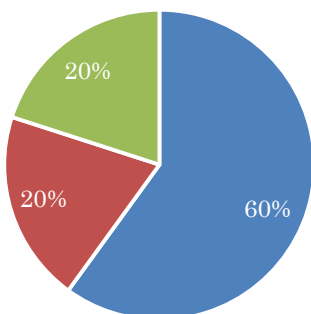
使用しない機器のコンセントは抜く



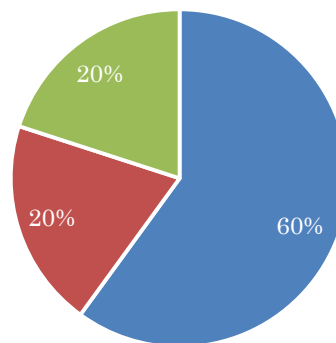
外出時や退庁時には、支障のない機器の電源を切る



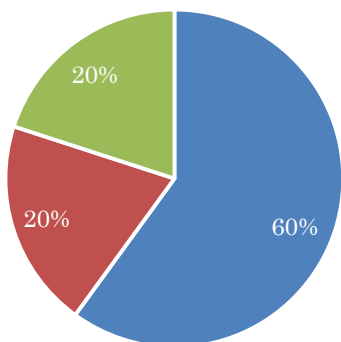
パソコン、プリンター、コピー機等を省エネモードにする



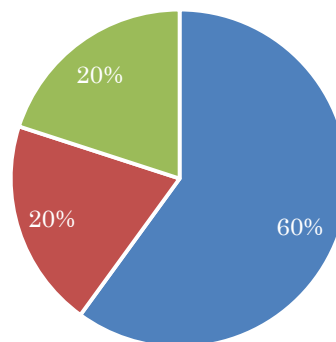
エコドライブ10のすすめを実行する



カーエアコンを効率的に使用する

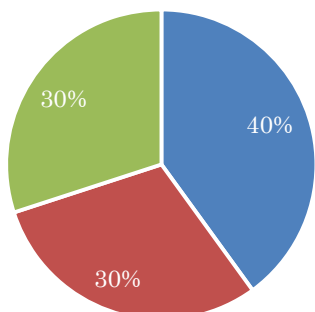


定期的に車両の点検を行う

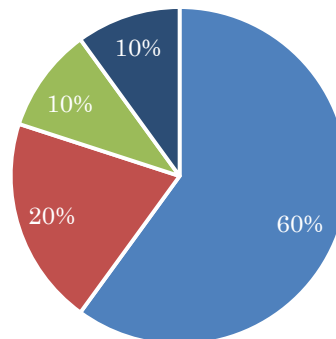


十分できた
 おおむねできた
 一部できた
 あまりできなかった
 ほとんどできなかった
 できなかった
 該当しない

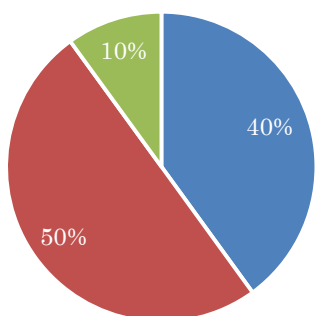
ファイリングシステムを活用して、書類の共有化を図る



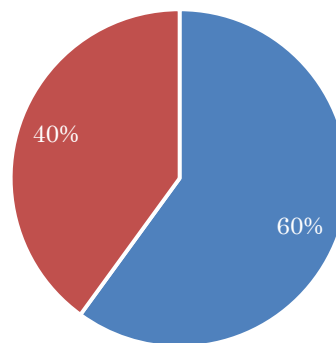
コピー機を使用した後は、リセットする



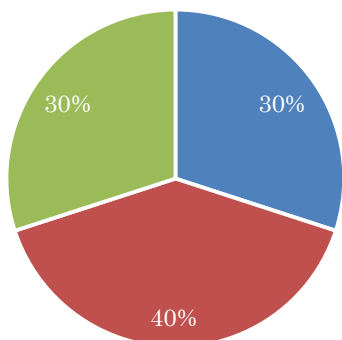
両面印刷や縮小印刷などパソコンの印刷設定により紙の使用量の削減に努める



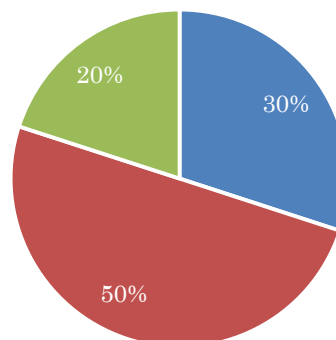
適正処理のため、ごみの分別を徹底する



使い捨て容器等の使用を控える

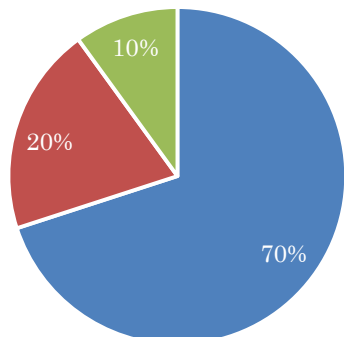


封筒やファイル等は再利用する

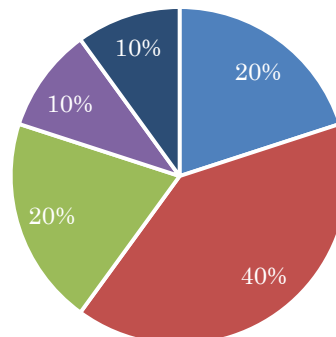


□十分できた □おおむねできた □一部できた □あまりできなかった □ほとんどできなかった □できなかった □該当しない

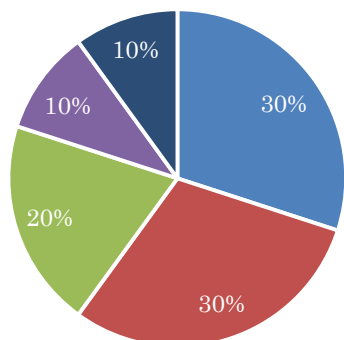
プリンターのカートリッジは回収する



グリーン購入対象の物品を購入する



詰め替え可能な製品を購入する



職員一人ひとりが、省資源・省エネルギー化に取り組んでいるため、すべての項目で、「十分できた」「おおむねできた」「一部できた」の回答が過半数を占めています。

○今後の取り組みについて

広域連合のすべての事務事業におけるエネルギー使用量は増加傾向にあります。主な要因であるごみ焼却量の増加を抑制するため、この計画に掲げる二酸化炭素排出量削減の取り組みについて周知するとともに、食品ロスやプラスチック製容器包装等の分別によるごみの減量化を徹底していくことが課題となります。